

はち博だより

令和8年3月18日発行 No. 6 八幡平市博物館

八幡平市博物館
ホームページ



つるし飾りも鮮やかに！「博物館でひなまつり」開催

2月3日(火)から3月8日(日)まで「博物館でひなまつり」を開催しました。

閉園した保育施設などから寄贈された7段びな(15人揃い)5組のほか、明治時代の「古今びな」や素朴な「土人形の内裏びな」など珍しいひな人形のほか、資料に残る市内で行われていたひなまつりの様子をパネルで紹介、計56点を展示しました。

会場に彩りを添えたのは安代地区で活動している絲の会(大森貞子会長、会員8人)が制作したつるし飾りや人形の数々。来場者は鶴やおくるみ人形、海老など手のひらサイズの縁起物一つ一つを丹念に鑑賞し、仕上がりの美しさやデザインの工夫など、作品完成までの労を称える言葉がたくさん聞かれました。

また、博物館友の会の会員 佐藤良明さんが制作した木製ひな人形も展示しました。佐藤さんから提供していただいたおびな・めびなの組み木人形を希望者にプレゼント、来館サプライズと喜ばれました。

期間中、例年の同時期に比較して3倍以上となる193人が来館し、冬は静かな当館が賑わいを見せました。展示にご協力をいただいた皆様に心よりお礼申し上げます。



展示資料の紹介

まつおかまいししかんじょうれっせきしゅつどどぐう

松尾釜石環状列石出土土偶 縄文時代晩期(約2800年前) / 高さ24cm

この土偶は両腕が欠損していますが、ほぼ全身が残る土偶です。目は遮光器土偶に似ており、後頭部は口のように大きく開いています。これは冠を表現したものと考えられています。

1953(昭和28)年、慶應義塾大学が実施した発掘調査で下半部が出土し、同大学で保管されていました。上半部は遺跡西側にある畑地で地権者が採取し、旧松尾村歴史民俗資料館(現：松尾鉱山資料館)に展示していました。

2012(平成24)年、発掘調査から約60年の時を経て上下が接合することがわかり、この土偶をはじめ、当時の発掘調査の出土品、測量図面などの資料は、2013(平成25)年に当館に移管されました。

貴重な土偶をぜひ間近でご覧ください。



(正面)

(裏面)

令和8年度

予約なしでもものづくりを体験!

土日体験メニュー

受付時間：9:00~14:30

ハーバリウムづくり (500円)

勾玉づくり (500円)

土偶ちゃんぬりえ (無料) など

詳しくはホームページで

お知らせします。



スタッフショット



2/15
スノー
ドーム
づくり



ぬりむろ くんえん
3/11 塗室の燻煙(10回目)

1/29 屋根からの落雪

八幡平市博物館

Hachimantai City Museum

お問い合わせ

電話/0195-63-1122 FAX/0195-63-1123

〒028-7533 岩手県八幡平市叭田 230

E-mail: hakubutsukan@city.hachimantai.lg.jp